

ENIGMA type-V EVD-330

GROM (EBJ-JC61)取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA type-V EVD-330 / EVD-330RTFW

対応車両 HONDA GROM (EBJ-JC61) JC75 には取り付けできません。

プロジェクタータイプのヘッドライトモデル(EBJ-JC61 1000001~1299999)と LED タイプのヘッドライトモデル(EBJ-JC61 1300001~)では、F I ランプの配線が異なります。ご注意ください。

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。ENIGMA 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません)作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な対応車両の整備知識が必要です。

ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側に ECU が有ります。

まず、シートを外し、ガソリンタンクサイドカバー（左側）を取り外します。

その後シートサイドカバーを取り外すと ECU が斜めにゴムマウントされています。

ECU に繋がっているカプラーを外し配線を加工して ENIGMA type-V を割り込みさせて下さい。

ENIGMA type-V は近くに水に濡れないよう取り付けてください。

バラ線タイプの ENIGMA type-V の場合、カプラー側の配線に ENIGMA type-V 配線の多くを **割り込み接続します。**

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

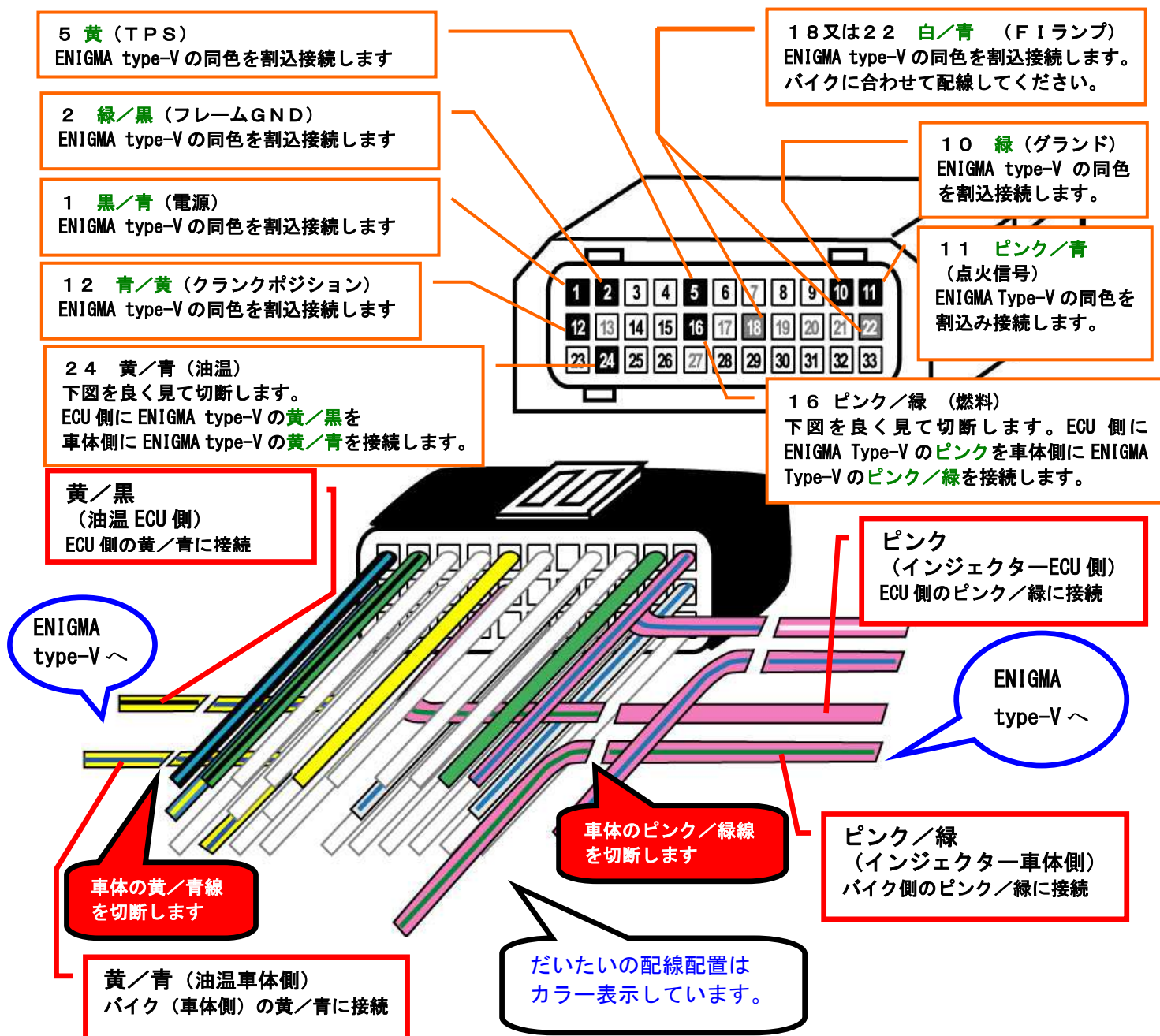
割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA Type-V の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA type-V から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。 下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
ENIGMA Type-V から接続する配線は全部で 11 本です。
ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
白線はピットレーンリミッタスイッチ用なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
- ※ ECU の 16 番端子（ピンク／緑）へ接続されている線（インジェクターへの信号）を切断して、ENIGMA Type-V からの配線で、バイク車体側にピンク／緑線を接続、ECU 側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9 番端子と 10 番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ ECU の 24 番端子（黄／青）へ接続されている線（油温センサーからの信号）を切断して、ENIGMA type-V からの配線で、バイク車体側に黄／青線を接続、ECU 側に黄／黒線を接続してください。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ F I ランプの配線（白／青）は
プロジェクターヘッドライトの GROM (EBJ-JC61 1000001~1299999) は ECU の 22 番端子へ
2016 モデルの LED ヘッドライトの GROM (EBJ-JC61 1300001~) は ECU の 18 番端子に接続します。当社 RTFW タイプはどちらにも対応できるよう両方へ接続しています。

※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、2、5、10、11、12、16、18または22、24の9箇所です。上図で良くご確認ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA type-Vはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA type-V操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用ソフトは機種専用 ENIGMA type-V GROM(JC61)用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトやFirePlus用ソフトはご利用になれません。
- iOS用アプリ、AndroidアプリはENIGMA type-V専用アプリをお使いください。ENIGMA type-V専用アプリは、アプリ内でGROM(JC61)専用アドインデータを購入することによりGROM(JC61)用Enigma type-Vで使うことができます。他のバイク専用のアドインデータやFirePlus用のアプリは使用できません。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com/>

ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMAから出ている「薄緑線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったらENIGMAの薄緑線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違っただけでプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**

ENIGMA タイプVを取り付ける前に必ず行って下さい。

当社ENIGMAタイプVをご購入頂き誠に有り難う御座います。

ENIGMAタイプVはエラーを出すこと無くO₂センサーフィードバック機能を停止させ、任意の増量/減量に対しECUの補正を停止させ、イメージ通りの燃調を行う事ができます。タイプVは新しい回路/プログラムを採用し、今までの物よりより正確に作動し動作レスポンスも向上しています。

この為、「使用する前には必ずECUを一度リセットして出荷状態に戻す必要があります」

JC61のECUは内部に今までのフィードバックデータをある程度蓄積しますのでリセットしない場合ENIGMAを取り付けても正しく燃調が出来ません。

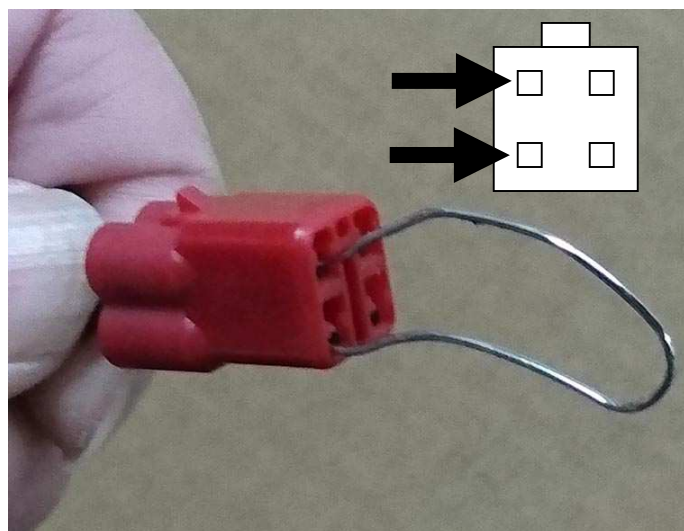
ECUのリセットは下記をよく読んで正しく行って下さい。作業が終わりましたらENIGMAと接続を行います。その後リセットしたECUを取り付けて下さい。

ECUリセット方法

- ①安全な場所でシートを外し、車体右側にある「サービスコネクター」を見つけます。
赤い四角いコネクターです（4PIN）
サービスコネクターについているキャップを取り外し、コネクターを爪を上にして正面から見て緑/黒と青を針金やクリップなどを使い短絡（ショート）させます。（写真/写真内図参照）



- ②アクセルを全開にした状態で、キーを「ON」にします。（アクセルは全開を保つ事）
この状態でメーター内部のFIランプを見ます。
FIランプが点滅するのを待ちます。⇒数回点滅したらアクセルから手を離します（アクセル全開）
その後「ピカッ・・・ピカッ・・・」と点滅したら、キーを「OFF」にします。
これでECUのリセット作業は終わりです。



- ※ 上記の様にリセット出来ない場合はすでにECU内部に「エラー履歴」がメモリーされてる場合があります。過去にFIランプが点灯（エラーモードになった事がある）などの場合がそうです。この場合はその原因を調べ修理した後に内部エラーを消去（サービスマニュアル参照もしくは正規販売店にて修理を行って下さい）しないとECUリセットは出来ません。
- ※ 必要が無いのにむやみにリセットを繰り返さないで下さい。トラブルの原因になります。
- ※ 上記作業が不安な方やわからない方は必ず専門店での取り付けをお願いいたします。当社ではECUリセットによるトラブル等に関して一切責任を負いません。